

令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

I 管理部門

1 会員の異動状況

会員区分	令和3 年度末	令和4年度中 増	令和4 年度中 減	令和4 年度末
正会員	94	0	2	92
賛助会員	0	0	0	0
特別会員	0	0	0	0
合 計	94	0	0	92

2 開催した法人運営会議

(1) 総会

第43回通常総会 [令和4年6月17日(金)]

審議事項

- ・令和3年度 計算書類
- ・定款の変更及び関連規程の改正

報告事項

- ・令和3年度 事業報告
- ・令和4年度 事業計画
- ・令和4年度 収支予算

(2) 理事会

第1回理事会 [令和4年5月27日(金)]

審議事項

- ・令和3年度 事業報告
- ・令和3年度 計算書類
- ・定款の変更及び関連規程の改正
- ・第43回通常総会の開催要項
- ・浄化槽検査委員会委員の委嘱

報告事項

- ・理事長及び副理事長の職務執行状況報告
- ・第43回通常総会における理事長表彰対象者

第2回理事会 [令和4年6月17日(金)]

審議事項

- ・規程等の制定

第3回理事会〔令和4年11月11日(金)〕

報告事項

- ・令和4年度 上半期事業実施状況
- ・令和4年度 中間決算
- ・浄化槽管理士研修会の実施について
- ・理事長及び副理事長の職務執行状況報告

第4回理事会〔令和5年3月17日(金)〕

審議事項

- ・令和5年度 事業計画案
- ・令和5年度 収支予算案
- ・規程の改正
- ・特定資産の取り崩し並びに積み増し及び新規保有に伴う積立について

報告事項

- ・令和4年度 事業実施見込
- ・令和4年度 収支決算見込
- ・委託業者による個人情報を含んだノートパソコン紛失について
- ・理事長及び副理事長の職務執行状況報告

(3) 正副理事長会議

第1回正副理事長会議〔令和4年5月27日(金)〕

- ・理事会審議事項

第2回正副理事長会議〔令和4年11月11日(金)〕

- ・理事会審議事項
- ・理事会報告事項

第3回正副理事長会議〔令和5年3月17日(金)〕

- ・理事会審議事項
- ・理事会報告事項

(4) 監事監査〔令和4年5月19日(木)〕

- ・令和3年度事業報告の監査
- ・令和3年度会計計算関係書類の監査

Ⅱ 事業部門

1 浄化槽法定検査月別実施状況（令和4年4月～令和5年3月）（単位：基）

検査実施月	検査総数	7条検査	11条検査	11条検査の内 10人槽以下	11条検査の内 11人槽以上
2022(令和4)年4月	2,706	127	2,579	1,443	1,136
2022(令和4)年5月	2,663	264	2,399	1,602	797
2022(令和4)年6月	3,203	407	2,796	1,746	1,050
2022(令和4)年7月	2,780	192	2,588	1,534	1,054
2022(令和4)年8月	2,513	121	2,392	1,516	876
2022(令和4)年9月	3,004	176	2,828	1,594	1,234
2022(令和4)年10月	3,062	99	2,963	1,606	1,357
2022(令和4)年11月	3,504	164	3,340	1,922	1,418
2022(令和4)年12月	3,269	207	3,062	1,854	1,208
2023(令和5)年1月	3,486	275	3,211	2,101	1,110
2023(令和5)年2月	3,459	228	3,231	1,965	1,266
2023(令和5)年3月	3,709	309	3,400	2,120	1,280
令和4年度実績	37,358	2,569	34,789	21,003	13,786
令和4年度計画	37,000	2,700	34,300	20,728	13,572
令和4年度実績－計画	358	▲131	489	275	214

2 浄化槽法定検査結果（令和4年4月～令和5年3月）

判定結果	7条検査		11条検査	
	基数	割合	基数	割合
A 適正	1,797	70%	21,914	63%
B 概ね適正	645	25%	10,023	29%
C 不適正	127	5%	2,852	8%
計	2,569	100%	34,789	100%

3 検査実施計画達成のための方策

(1) 受検率向上の取り組み

浄化槽法定検査の受検率を向上させるため、未受検浄化槽の管理者(所有者)名、住所等の情報を最新で正確なものとするよう市町と連携して努めた。

また、この情報に基づき、受検依頼数を確保することを目的に次の取り組みを実施した。

ア 市町と連携した取り組み

- ・未受検管理者への市町からの指導文書による掘起し
- ・市町と当センターとの浄化槽台帳の突合

イ 当センター独自の取り組み

- ・検査案内文書宛先不明分の浄化槽管理者氏名・住所等の登記情報提供サービス等を利用した再精査
- ・令和4年度検査案内未回答、令和3年度未受検、令和2年度以降未受検など、状況別に作成した一覧に基づく検査員による電話や訪問による掘起し
- ・会員への掘起し委託

掘起しによる依頼状況（令和4年度 単位：基）

掘起し経路	11人槽以上	10人槽以下	計
検査員	364	5	369
市町指導	60	4	64
会員	2	0	2
合計	426	9	435

(2) 受検契約締結の推進

法定検査を毎年確実かつ効率的に実施するため、浄化槽管理者との受検契約(10人槽以下は(公社)広島県浄化槽協会を含む三者契約)締結を推進した。

(3) 検査技術向上と精度管理

ア BOD水質検査

土日対応の自動BOD測定装置により、法定検査を行う全ての浄化槽についてBOD水質検査を実施した。測定結果を安定して正確なものとするため、測定装置の的確な維持管理や検査環境の整備を徹底し、精度管理を行った。

イ 検査技術の向上

検査員の検査技術の向上及び現場検査の精度管理の徹底を図るため、検査員研修会、接遇研修、現場検査指導等のOJTを含めた体系的な内部研修を行った。

また、全国浄化槽技術研究集会や広島県及び市町共催の広島県浄化槽維持管理業務講習会への参加、浄化槽技術管理者講習会の受講等により、浄化槽の最新情報収集や大型浄化槽の知識と技術の習得に努めた。

ウ 業務改革チームの活動

チームでは、時代に対応したより質の高い検査の実施、顧客満足度向上及びセンタの活性化に取り組んだ。令和4年度は、法定検査手数料の支払いにおけるキャッシュレス決済の導入、検査作業の安全性確認（中央労働災害防止協会担当者立ち会いによる実地調査）、一人での作業が困難な検査箇所のリスト化及び複数人体制の試行を行った。

（４）各種会議の開催・参画

【開催】

- ・浄化槽検査委員会 {7月19日}
- ・製造・施工部会及び保守点検・清掃部会 {第1回：4月27日、第2回：9月27日}

【参画】

- ・全国浄化槽技術研究集会 {10月18日、19日}
- ・広島県浄化槽適正維持管理促進協議会 {7月13日、令和5年3月16日}
- ・(一社)全国浄化槽団体連合会の諸会議 {Web会議等}
- ・全浄連中国地区協議会の諸会議 {Web会議}
- ・浄化槽トップセミナー鳥取 {令和5年1月20日}
- ・中国地区指定検査機関情報交換会 {令和5年2月17日Web開催}
- ・浄化槽の法定検査に関する全国会議 {令和5年2月22日Web参画}

4 法定検査関連普及啓発等事業

（１）環境啓発イベント等への参加

- ・きれいなひろしま・まちづくり市民会議主催(事務局：広島市業務第一課)のごみゼロ・クリーンキャンペーンに参加し、広島城周辺の清掃活動を行った。(6月5日)
- ・ひろしま地球環境フォーラム主催(事務局：広島県環境政策課)のクリーン&サンフレッチェに参加し、3R(リデュース、リユース、リサイクル)への取組の一環として、エディオンスタジアム周辺でスタッフとして環境美化活動を行った。(10月1日)
- ・広島県などが開催する環境啓発イベント（環境の日ひろしま大会）については、オンライン開催となったため参加を中止した。

（２）「浄化槽の日」普及啓発新聞広告の掲載

10月1日(浄化槽の日)付けの中国新聞の朝刊に、浄化槽の適正な維持管理の実施、特に法定検査の実施について啓発する広告を、広島県、広島県浄化槽推進市町村協議会、(公社)広島県浄化槽協会と共催で掲載した。

（３）公式サイト運営、会報発行等による普及啓発及び情報提供

当センター公式サイトにて浄化槽の適正な設置・管理及び浄化槽法定検査の制度、機能向上対策制度、手続等に関する情報、浄化槽に関連したその他の情報を提供し、会員及び設置者の支援を行った。

また、会報を2月に発行して関係機関や会員に送付し、浄化槽行政や当センター実施事業の現況について情報提供を行った。

(4) 浄化槽システムの脱炭素化推進事業

令和4年度も、浄化槽システムの脱炭素化推進事業の広島県における窓口となって補助金の案内や事務手続の支援を行った(25頁 令和4年度「浄化槽システムの脱炭素化推進事業の交付決定状況について」参照)。

(5) 水環境保全及び地域活性化活動への助成

当センター設立40周年記念事業としての「水環境保全及び地域活性化助成事業」については3年目を迎え、令和2年度から助成している次の2団体については継続助成しており、令和4年度の事業等は次のとおりである。

団体名	活動内容	助成額
愛の呪文アーチリング 聖地化プロジェクト	温井ダム(安芸太田町)の「水の文化館」の情報発信機能強化や水資源を活用した観光誘致等地域の活性化を目指した。 令和4年度は、令和3年度に事業実施し設置した五右衛門風呂があるテラスから河川敷への誘導路としての石段を設置し、より水辺に親しむことができる環境を整備した。	100万円
特定非営利活動法人 百華倶楽部	旧甲田町(安芸高田市)の自然を利用した地域活動や圃場拡大を通じて子供たちの学習の場として定着させる地域の活性化活動を行った。 令和4年度は国道54号線沿いにあった、セブンイレブンの跡地を地域住民の憩いの場として利用するのに伴い、現存する浄化槽を活用し、避難所トイレとしての使用も視野に入れた共同トイレを設置した。	100万円

5 浄化槽現況調査受託事業

令和4年度は東広島市から浄化槽現況調査事業を受託し、宛先不明、未契約、拒否等により法定検査を受検していない単独処理浄化槽821基の現況調査(現地における実態調査)を行い、改めて稼働が確認できた浄化槽管理者へ、法定検査の受検を促し、また浄化槽の正しい使い方や適正な維持管理方法について普及啓発を行った。

6 B C P (事業継続計画)の推進

新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの非常事態であっても、当センターに課された公益目的事業を継続して実施して行くため、令和2年7月に策定したB C P (事業継続計画)に基づき、次の取組を行った。

(1) 業務フロー改善

現在当センターが構築している各種の法人運営システム（経理業務、予算・決算業務、給与支給業務、勤怠管理業務等）及び、法定検査管理システム（検査予定管理・結果判定結果書作成・検査手数料請求・入金業務等）について、現状に合わせた全面改修を進めており、令和5年中に新システムでの運営を予定している。

(2) リモートワーク、Web会議の実施

新型コロナウイルス感染防止及び業務効率化のため、在宅勤務や、定例会議をWeb会議サービスを活用して実施した。

2022(令和4)年度 浄化槽システムの脱炭素化推進事業の交付決定状況について (二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金)

1 趣旨

当センターは、令和4年度も（一社）全国浄化槽団体連合会が執行団体となっている環境省の「浄化槽システムの脱炭素化推進事業」の広島県における窓口となり、この事業の円滑な推進に努め、地球温暖化対策及び生活環境の保全に寄与するとともに、老朽化した浄化槽の長寿命化に協力している。

令和4年度の広島県における、この事業の補助金交付額が確定したので報告する。

なお、この補助金については、環境省が令和8年度までの事業期間としており、令和5年度の概算要求でも今年度と同額(18億円)が要求されている。

2 令和4年度浄化槽システムの脱炭素化推進事業の交付決定状況

申請者	対象施設	浄化槽設置市町	事業種	補助金額(円)	年間CO2削減量 (t-CO2/年)
A	医療施設	広島市	事業①	567,000	1.8
B	スキー場	北広島町	事業①	1,260,000	4.1
C	福祉施設	廿日市市	事業②	20,250,000	31.3
D	福祉施設	竹原市	事業①	1,750,000	3.8
E	学校施設	福山市	事業②	1,870,000	10.0
F	福祉施設	尾道市	事業①	247,000	0.6
G	事務所施設	神石高原町	事業①	400,000	0.7
H	宿泊施設	福山市	事業①	830,000	1.7
I	宿泊施設	福山市	事業①	3,060,000	11.5
J	宿泊施設	福山市	事業①	1,150,000	4.0
K	団地施設	東広島市	事業①	895,000	3.1
11件	合計			32,279,000	72.6

【参考（令和3年度の実績）】

令和5年3月末現在

申請件数	補助金額(円)	年間CO2削減量 (t-CO2/年)
14件	66,275,000	113.3

3 令和4年度の補助事業の対象等

(1) 事業① 最新型の高効率機器への改修事業

30人槽以上の既設合併処理浄化槽について、各種機械設備を最新型機器（高効率ブロワ等）へと改修する他、原則的にはタイマーやインバータ制御装置等を導入することにより、CO₂排出量を事業前より20%以上削減できる事業に対して1/2補助

(2) 事業② 先進的省エネ型浄化槽への交換事業

30人槽以上の既設合併処理浄化槽から先進的な省エネ型浄化槽への本体交換によって、CO₂排出量を事業前より46%以上削減できる事業に対して1/2補助

(3) 事業③ 再生可能エネルギー設備の導入事業

事業①又は事業②と併せて行う再生可能設備（太陽光発電、蓄電池等）の導入事業